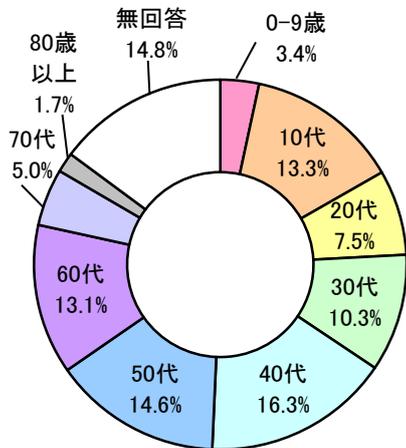


特別展「栄西と建仁寺」 アンケート集計結果

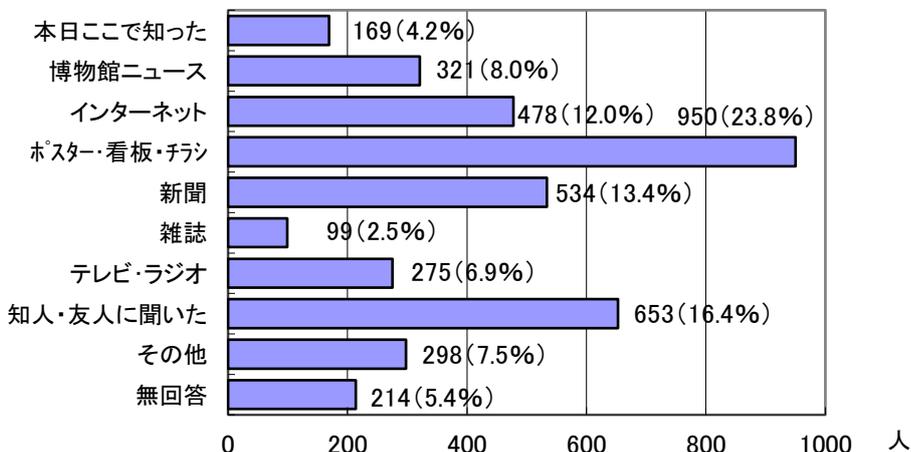
開催期間：平成26年3月25日（火）～ 5月18日（日）（49日間）

回答者数：3,462人（総入館者数：252,116人 アンケート回収率：1.37%）

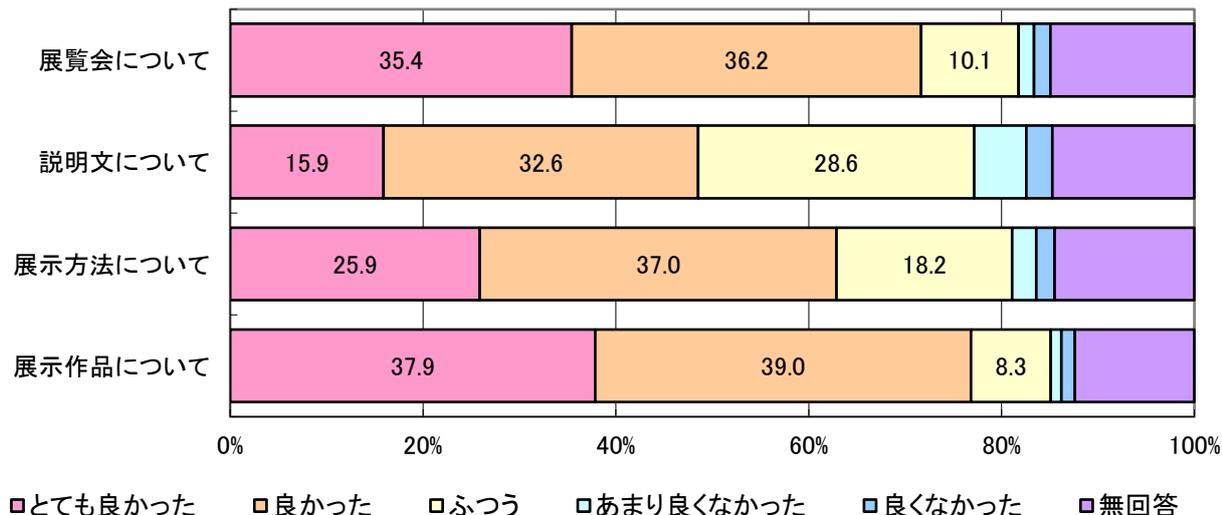
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 風神雷神図屏風、四頭茶会の再現がすばらしかった。
- ・ 小野篁像の目が光るライティングは迫力があって良かった。
- ・ 禅宗や喫茶のはじまりなどを知り、大変勉強になった。
- ・ 展示位置が高い作品があり、見づらかった。
- ・ もう少し文字を大きくしてほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展覧会	1.6	1.7	14.9
説明文	5.4	2.7	14.7
展示方法	2.5	1.9	14.5
展示作品	1.1	1.4	12.4

(%)

本展覧会は、日本に禅宗（臨済宗）を広め、京都最古の禅寺「建仁寺」を開創した栄西禅師（ようさいぜんじ、1141～1215）の800年遠忌にあたる本年、栄西ならびに建仁寺にゆかりの宝物を一堂に集めて開催いたしました。建仁寺の至宝・琳派の美を象徴する俵屋宗達の最高傑作、国宝「風神雷神図屏風」を筆頭に、海北友松筆の重文「雲龍図」など建仁寺本坊方丈障壁画、山内の塔頭に伝わる工芸や絵画の名品、栄西をはじめとした建仁寺歴代の書蹟、全国の建仁寺派寺院が所蔵する宝物を展示し、また日本で最初の茶書である『喫茶養生記』を著した栄西にちなみ、茶道の原形とされる「四頭茶会」を再現しました。

本展には、25万人を超えるお客様にご来場いただきました。アンケートの結果、71%の方から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「もっと詳しい説明がほしい」「一連の作品を前期と後期で分割して展示しないでほしい」といったご意見もいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。